

八尾を歩く 心合寺山周辺ウォーキングマップ



■心合寺山古墳へのアクセス:

近畿大阪線 河内山本駅下車

京急バス鶴見山駅行「大竹」バス停下車 東に徒歩約5分

あいバス東ルート「大竹南」バス停下車 北に徒歩約5分

近畿新吉線 服部川駅下車

に徒歩約20分

ハイキングコース



大藏經
總目



八

100

— ハイキングコース

周辺は花や花木の農場として有名で、春や秋には出来前の色とりどりの花が見られます。大小さまざまな古墳もあり、自然と歴史に触れ合えるハイキングコースになっています。また、周辺の農産物直売所では、朝採れの新鮮野菜などを販売しています。

水谷地蔵 (み　のみじぞう)

承和3年(836年)僧空漁がここに地蔵菩薩を安置してお堂を設けたといわれます。本堂の南側に小さいほこらがあり、石地蔵の前に2つのつぼがあってこんなと清水が湧いています。俗に「弘法の水」といい弘法大師が十三納を越える旅人のために祈願して現れた靈水で、現在でも脚氣などの病氣にも効果があるといわれ、多くの人が訪れます。

心合寺山古墳 (しおんじやまこふん)

古墳時代中期の全長160mに及ぶ中河内最大の前方後円墳で、昭和41年国の史跡に指定されました。「木の櫛記録を残した埴輪」や鏡・甲冑などの副葬品が出土し、史跡整備事業によって、当時の埴の形狀や墓石・埴輪列などを復元しました。「しおんじやま古墳学館」を併設しています。

鐵塚古墳（かがみづかこふん）

標高17mのところにあり、俗に「熊山」とか、この土をいじると腹痛をあおすといわれているところから「腹痛山」と呼ばれています。埴丘の上部には軽土塚が残っているといわれ、火葬跡が2カ所と、石棺の蓋の破片も出土しています。古墳時代中期の大形円墳で、大阪府の史跡指定をうけています。

愛宕塚古墳 (あたごづかこみん)

この古墳は古墳時代後期の代表的なもので、石棺は極めて巨大な石を用い、大阪府下で最大級の横穴式の石室を持つ円墳です。権高70m、封土の高さ9m、直径22mです。この古墳からは鍛冶全銅張の馬具等の豪華な副葬品が出土しており、高安地域の有力な首長の墓として、大阪府内の史跡に指定されています。

A map of Sakurayamato, featuring a river labeled '玉串川' (Iwatsuna River) flowing through the center. A prominent pink cherry blossom branch with flowers and buds is superimposed over the map, particularly along the riverbank. Key locations marked include '山本高' (Yamamoto High School) at the top, '至八尾・上木町' (To Hattori and Kamitokochi) on the left, '近鉄大阪線' (Kintetsu Osaka Line) and '河内山本駅' (Kawachi Yamamoto Station) at the bottom, and '近畿日本ツーリスト' (Kintetsu Travel) in the bottom right corner. A compass rose is located in the top left corner.

雪舟立籠塚 (しゅんとくまるかがみづか)

この廊は西山の御宿跡や御宿跡周辺を含む市内を名高い
後丸の廊と伝えられています。しかし、これは本来は
8世紀に築造された横穴式の石室をもつ古墳です。
石室の入口には歌舞伎役者の実川區若寄遊の榜題
があります。

歴史民俗資料館（れきしみんぞくしりょうかん）

文化財の保護・歴史を目的として昭和62年11月に開館。文化財を収集・保存するとともに、展示して広く一般に公開し、市民の文化財に対する理解と郷土愛を育むための学習に寄与しています。

佐麻多鹿神社（さまたごじんじゃ）

この神社は式内社で、当麻山の麻土神です。旧社地は100m上の露頭地の谷口天神山にあり、明治31年(1898年)現在へ移りました。境内に165kgの重さのあるもの3石の力石があり、重さによって、1石3斗石、1石石、倍石などと称されていました。

第二万葉植物公園(だいにまんようしょくぶつこうえん)

昭和30年3月開設。万葉集に詠まれた植物約160種の中で、市東寮一帯で100余種の品種が確認されます。これらは古代人の生活中で、食用、薬用、燃料、建築工具、染料などに使われました。ヤマモモなど高木53種、アカビなど低木573種があります。